

●インテックの2020年ビジョン

「産業と社会システムの高次化に資するユビキタスICTカンパニー

(ユビキタス：コンピュータの存在を意識せずに、その機能を利用できる環境)

●2020年ビジョン達成スローガン

3つのPlus One

Plus One Dream

私たちは、お客さまとともに一步先の夢を実現します。

Plus One Value

私たちは、商品・サービスに高い付加価値を提供します。

Plus One Challenge

私たちは、現状にとどまらず一段階上の挑戦を続けます。

●第16次中期経営計画(2012年4月~2014年3月)

New INTEC Dream

次なる50年へ

中期
経営方針

1. 新しいサービス型ビジネスモデルによる成長
2. お客さまとの関係強化による市場シェア拡大
3. 高付加価値化による競争力向上

総合力と専門性

インテックは、2014年1月11日、創立50年を迎えます。

この間のICTの発展には目を瞠るものがあります。ムーアの法則、半導体の技術革新がこれを支えました。1年半で2倍、30年で100万倍の集積度の向上です。今のパソコンは、かつて数億円もした大型コンピュータを超える性能を持っています。この進歩にICT技術が重畳され、社会に大きな変革をもたらしました。インターネットはその代表例です。

インテックは創業以来、コンピュータ・ユーティリティ、電気やガス、水道のように、いつでも、どこでも、誰でもがコンピュータを自由に使う時代がくることを想定し、その魁となることを目指してきました。電気を使うには発電所と送電線が必要です。コンピュータがユーティリティであるためには何が必要か、これを発想の原点とし、データセンター事業、ネットワーク事業を押し進めてきました。

現在のクラウドの潮流は、インテックが理想とする時代の到来を告げるものです。この大きな波を捉え、より力強く前進するために、新しい経営計画「New INTEC Dream」を策定いたしました。

クラウドとは、一層のサービス化の進展に他なりません。業種業界の知識を集約し、複数のお客さまニーズを捉え、卓越したサービスプラットフォームを構築し、オーガナイズする総合力が必要です。同時に、お客さまに寄り添い、より高度なコンサルティング、情報システム開発、アウトソーシング提供を行う専門性が求められます。

総合力と専門性、この難しい命題を必ず実現するというインテックの誓いを3つのPlus Oneに集約いたしました。

産業と社会システムの高次化に資するユビキタスICTカンパニーを目指して、インテックは、次なる50年へ、新たななる挑戦を続けます。



株式会社インテック
代表取締役社長
金岡 克己